

製品名: カルギザリンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07856**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	S100A11
別名	S100A11; MLN70; S100C; Protein S100-A11; Calcizzarin; Metastatic lymph node gene 70 protein; MLN 70; Protein S100-C; S100 calcium-binding protein A11
遺伝子 ID	6282.0
SwissProt ID	P31949
免疫原	カルギザリン由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 30-110

背景

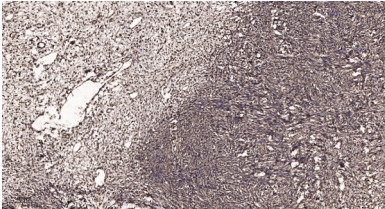
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、2つの EF ハンドカルシウム結合モチーフを含む S100 タンパク質ファミリーのメン

バーです。S100タンパク質は、幅広い細胞の細胞質および/または核に局在し、細胞周期の進行や分化など、多くの細胞プロセスの制御に関与しています。S100遺伝子は少なくとも13のメンバーから構成され、染色体1q21上にクラスターとして存在します。このタンパク質は、運動性、浸潤、およびチューブリン重合に機能すると考えられます。染色体再編成およびこの遺伝子の発現変化は、腫瘍転移に関与していることが示唆されています。[RefSeq提供、2008年7月]機能: ケラチノサイトの分化と角質化を促進する。、その他: S-100タンパク質と同様の親和性で、分子あたり2つのカルシウムイオンに結合する。、PTM: PRKCAによるThr-10のリン酸化は、ホモ二量体形成を著しく抑制し、核移行を誘導するNCL/ヌクレオリンとの会合を促進する。、類似性: S-100ファミリーに属する。、類似性: 2つのEFハンドドメインを含む。、サブユニット: ホモ二量体; ジスルフィド結合。、

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト卵巣腫の免疫組織化学分析。1、抗体を1:200に希釈（4℃で一晩）。2、抗原賦活化にはTris-EDTA、pH9.0を使用。3、二次抗体を1:200に希釈（室温、45分）。